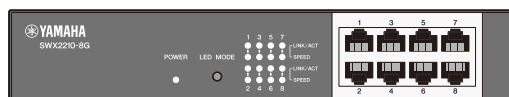
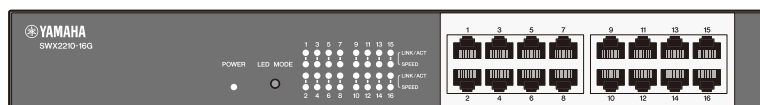
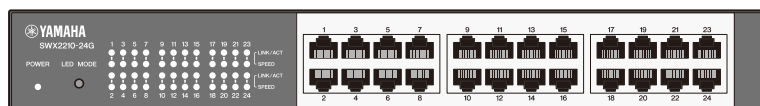





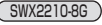

## L2スイッチ

**SWX2210-24G****SWX2210-16G****SWX2210-8G****取扱説明書**

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- ・はじめに「安全上のご注意」(7ページ～10ページ)を必ずお読みください。本書中の警告や注意を必ず守り、正しく安全にお使いください。
- ・お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しく設置、設定を行ってください。
- ・本書はなくさないように、大切に保管してください。

# 目次

<b>はじめに</b> .....	<b>4</b>
本製品の特長 .....	4
本書の表記について.....	4
略称について.....	4
商標について.....	4
「注意」と「重要」と「メモ」.....	5
アイコン .....	5
付属品.....	6
別売品.....	6
<b>安全上のご注意</b> .....	<b>7</b>
「警告」と「注意」について.....	7
記号表示について.....	7
<b>使用上のご注意</b> .....	<b>11</b>
<b>重要なお知らせ</b> .....	<b>12</b>
電波障害自主規制について.....	12
高調波規制について.....	12
本製品で使用しているオープンソースソフトウェア.....	12
<b>各部の名称と機能</b> .....	<b>13</b>
前面.....	13
底面 / 背面 / 側面.....	15
底面.....	15
背面.....	16
側面.....	17
<b>設置</b> .....	<b>18</b>
水平置きで設置する場合.....	18
19 インチラックに設置する場合  .....	18
19 インチラックに設置する場合  /  .....	20
スチール製壁面に設置する場合  .....	21
壁面に設置する場合  .....	23
<b>設定</b> .....	<b>26</b>
Web GUI を使用して設定する.....	26
Telnet を使用してコマンドラインで設定する.....	27
本製品の設定を工場出荷時の状態に戻す.....	29
<b>接続</b> .....	<b>31</b>
ネットワーク機器やパソコンと接続する.....	31
電源コードを接続する.....	31

<b>資料</b> .....	<b>33</b>
ハードウェア仕様.....	33
ソフトウェアライセンス契約 .....	35
サポート窓口のご案内.....	37
本製品の保守サービスについて .....	38
本製品のお客様サポートについて（サポート規定）.....	38

# はじめに

## 本製品の特長

### ■ 中小規模ネットワークで最適な L2 スイッチ

- 従来のポートベース VLAN、タグ VLAN に加え、SWX2200 シリーズで好評のマルチプル VLAN の機能を継承しました。
- 新たにリンクアグリゲーションに対応したことで、論理的に帯域幅を拡大するとともに経路の冗長化を実現できます。  
さらに、QoS (Quality of Service) に対応したことで、音声や映像などのデータを優先的に制御することが可能です。
- 小規模オフィスフロアスイッチとして、また、インターネットマンションのネットワーク構築などに最適な L2 スイッチです。
- 動作環境温度は、周囲温度 50℃まで対応し、ファンレス化を実現しました。設置場所の制約も解消されます。

### ■ スイッチ機能を簡単に設定

- 本製品で提供する VLAN、リンクアグリゲーション、QoS などの機能は、従来のコマンド設定に加え、すべて Web GUI から設定できます。
- 初めての方でも本製品を手軽に設定できます。

### ■ 日ごろのネットワーク保守・運用業務を軽減

- 本製品と L2MS マスターとなるヤマハ製ルーターまたはスイッチを組み合わせることで、LAN マップ、LAN マップ Light を使用することができます。
- ネットワーク構成の把握と機器の監視、障害時の通知や情報収集、設定情報のメンテナンスを L2MS マスターの Web GUI で行うことができ、日ごろのネットワーク保守・運用業務を軽減できます。

## 本書の表記について

### ■ 略称について

本書ではそれぞれの社名・製品について、以下のように略称で記載しています。

- ヤマハ L2 スイッチ SWX2210-24G、SWX2210-16G、SWX2210-8G : 本製品
- 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T ケーブル : LAN ケーブル

### ■ 商標について

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標あるいは商標です。

## ■ 「注意」と「重要」と「メモ」

### 注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、お守りいただく内容です。

### 重要

製品を正しく操作、運用するために、必ず知っておいていただきたい内容です。

### メモ

操作や運用に関連した情報です。参考にお読みください。

## ■ アイコン

SWX2210-24G、SWX2210-16G または SWX2210-8G に関わる情報は以下のアイコンで表します。

### SWX2210-24G

SWX2210-24G に関わる記載を表します。

### SWX2210-16G

SWX2210-16G に関わる記載を表します。

### SWX2210-8G

SWX2210-8G に関わる記載を表します。

### メモ

全モデル共通に関わる記載にはアイコンは付いていません。

- 本書は、本製品の基本的な機能を使用するための情報を提供するためのものです。以下の Web サイトに詳細な情報が掲載されています。必要にあわせてご覧ください。



ヤマハネットワーク製品  
<https://network.yamaha.com/>



ヤマハネットワーク周辺機器 技術情報ページ  
<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>

- 本書の記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書は、制作時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハ Web サイトからダウンロードできます。



ヤマハネットワーク機器マニュアル  
<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/manual.html>

- 本製品を使用した結果により発生した情報の消失などの損失については、弊社では責任を負いかねます。保証は本製品の物損の範囲に限ります。あらかじめご了承ください。

## 付属品

以下の付属品が同梱されているか、ご確認ください。

- 取扱説明書（本書、保証書含む）
- AC100V 用電源コード（1 本）
- 電源コード抜け防止金具（1 個、付属 AC100V 用電源コード専用）  
電源コードを取り付ける際に使用します。取り付け方は「接続」の「電源コードを接続する」（31 ページ）をご覧ください。
- レッグ（4 個）  
水平置きで設置する場合に必要です。取り付け方は「設置」の「水平置きで設置する場合」（18 ページ）をご覧ください。

### メモ

- SWX2210-24G と SWX2210-16G は、4 個のレッグが同梱されます。
- SWX2210-8G は、4 個のレッグが 1 シートに貼られて同梱されます。

#### SWX2210-8G

- マグネットシート MGS-1710（1 枚、SWX2210-8G 専用）  
取り付け方は「設置」の「スチール製壁面に設置する場合（SWX2210-8G）」（21 ページ）をご覧ください。

#### SWX2210-24G / SWX2210-16G

- 19 インチラックマウント用金具 & ネジ（金具：2 個、ネジ：8 本）  
19 インチラック（1U サイズ）に取り付ける場合に必要です。取り付け方は「設置」の「19 インチラックに設置する場合（SWX2210-24G / SWX2210-16G）」（20 ページ）をご覧ください。

## 別売品

#### SWX2210-8G

- ラックマウントキット YMO-RACK1U  
19 インチラック（1U サイズ）に取り付ける場合に必要です。取り付け方は「設置」の「19 インチラックに設置する場合（SWX2210-8G）」（18 ページ）をご覧ください。

#### SWX2210-8G

- ウォールマウントキット YWK-1200D  
壁面に設置する場合に必要です。取り付け方は「設置」の「壁面に設置する場合（SWX2210-8G）」（23 ページ）をご覧ください。

弊社別売品については下記の Web サイトをご覧ください。



ヤマハネットワーク製品オプション  
<https://network.yamaha.com/products/options/>

# 安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、下記の注意事項をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。

本書に示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

## ■「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



**警告**

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



**注意**

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

## ■ 記号表示について

本書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「～しないでください」という禁止を示します。
	「実行してください」という強制を示します。










**警告**








- 本製品は一般オフィス向けの製品であり、人の生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される分野に適応するようには設計されていません。
- 本製品を誤って使用した結果により発生したあらゆる損失については、弊社ではいかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。

<p>必ず実行</p>	<p>日本国内 AC100V (50/60Hz) の電源電圧で使用する場合は、必ず付属の電源コードを使用する。</p> <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>
<p>禁止</p>	<p>付属の電源コードを他の電気機器で使用しない。</p> <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>









## 安全上のご注意

 <p>必ず実行</p>	<p>日本国内 AC200V (50/60Hz) の電源電圧で使用する場合は、必ず AC200V に対応した電源コードを使用する。</p> <p>AC200V に対応した電源コードを使用しないと火災や感電、故障の原因になります。</p>
 <p>必ず実行</p>	<p>電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。</p> <p>万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。</p>
 <p>必ず実行</p>	<p>電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。</p> <p>差し込みが不十分なまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になったりします。</p>
 <p>必ず実行</p>	<p>下記の場合には、すぐに電源プラグをコンセントから抜く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 異常なおいや音が出る</li> <li>・ 煙が出る</li> <li>・ 破損した</li> <li>・ 水がかかった</li> </ul> <p>そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <p>必ず販売店に修理や点検をご依頼ください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>放熱を妨げない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 布やテーブルクロスをかけない</li> <li>・ 通気性の悪い狭い場所へは押し込まない</li> <li>・ 通風口をふさがない</li> </ul> <p>本製品の内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。</p>
 <p>ぬれ手禁止</p>	<p>ぬれた手で本製品を扱わない。</p> <p>感電や故障の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>本体のすき間から金属や紙片など異物を入れない。</p> <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p>分解・改造は絶対にしない。</p> <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>ケーブルを傷つけない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重いものを上に載せない</li> <li>・ 加工をしない</li> <li>・ ステープルで留めない</li> <li>・ 無理な力を加えない</li> <li>・ 熱器具には近づけない</li> </ul> <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>



 禁止	<p>本製品を落下させたり、強い衝撃を与えたりしない。 内部の部品が破損し、火災や感電、故障の原因となります。</p>
 禁止	<p>水がかかる場所、ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気があたる場所、腐蝕性ガスがかかる場所に設置しない。 火災や感電、故障の原因になります。</p>
 必ず実行	<p><b>SWX2210-24G / SWX2210-16G</b></p> <p><b>水平に設置する。</b> 縦置きで設置した場合や上下逆さまに設置した場合、放熱を妨げることにより火災や故障の原因になります。</p> <p><b>SWX2210-8G</b></p> <p><b>弊社別売のウォールマウントキット YWK-1200D、付属のマグネットシート MGS-1710 を使用して壁に設置するか、水平に設置する。</b> YWK-1200D、MGS-1710 を使用せずに壁に設置した場合や縦置き、上下逆さまに設置した場合、放熱を妨げることにより火災や故障の原因になります。</p>
 必ず実行	<p><b>SWX2210-24G / SWX2210-16G</b></p> <p><b>19 インチラックに取り付けるときは、必ず付属の 19 インチラックマウント用金具とネジを使用する。</b> 落下によるけがや機器破損の原因になります。また、感電や故障の原因になります。</p> <p><b>SWX2210-8G</b></p> <p><b>19 インチラックに取り付けるときは、弊社別売のラックマウントキット YMO-RACK1U を使用する。</b> 落下によるけがや機器破損の原因になります。また、感電や故障の原因になります。</p>
 必ず実行	<p><b>SWX2210-8G</b></p> <p><b>弊社別売のウォールマウントキット YWK-1200D やラックマウントキット YMO-RACK1U に取り付けるときは、必ずマウントキット付属の指定されたネジを使用する。</b> 落下によるけがや機器破損の原因になります。また、感電や故障の原因になります。</p>
 接触禁止	<p>雷が鳴りはじめたら、本体や電源コードには触れない。 感電のおそれがあります。</p>
 必ず実行	<p>電源プラグは保護接地されている適切なコンセントに接続する。 確実に接地接続しないと、感電や故障の原因になります。</p>

# 注意

 必ず実行	<p>本製品を移動する前に、必ず電源コードを外してから、接続ケーブルをすべて外す。</p> <p>ケーブルをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。</p>
 禁止	<p>本製品を他の機器と重ねて置かない。</p> <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>
 禁止	<p>不安定な場所や振動する場所には設置しない。</p> <p>本製品が落下や転倒して、けがや故障の原因になります。</p>
 禁止	<p><b>SWX2210-8G</b></p> <p>弊社別売のウォールマウントキット YWK-1200D を使用して天井に取り付けない。</p> <p>落下によるけがや機器破損の原因になります。</p>
 必ず実行	<p><b>SWX2210-8G</b></p> <p>弊社別売のウォールマウントキット YWK-1200D を使用して壁に取り付けるときは、必ず壁の材質に適合したネジを使用する。</p> <p>落下によるけがや機器破損の原因になります。</p>
 禁止	<p><b>SWX2210-8G</b></p> <p>付属のマグネットシート MGS-1710 を使用して高所または天井面に取り付けない。</p> <p>設置する場合は、高さ 200cm 以内に設置してください。</p> <p>落下によるけがや機器破損の原因になります。</p>
 禁止	<p><b>SWX2210-8G</b></p> <p>付属のマグネットシート MGS-1710 で壁面に設置したあと、機器をずらさない。</p> <p>接着面が小さくなるため、SWX2210-8G が落下し、けがや機器破損の原因になったり、被着面の塗装などに傷がついたりするおそれがあります。</p>
 必ず実行	<p><b>SWX2210-8G</b></p> <p>付属のマグネットシート MGS-1710 で壁面に設置したとき、ケーブルは必ず壁面などに固定する。</p> <p>ケーブルに手や足が引っかかると、SWX2210-8G が落下し、けがや機器破損の原因になります。</p>

# 使用上のご注意

---

- 本製品の使用方法や設定を誤って使用した結果により発生したあらゆる損失については、弊社ではいかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。
- AC200V の電源コンセントでご使用になる場合は、お客様で適切な電源コードをご用意ください。電源コードに起因して発生したあらゆる損失については、弊社ではいかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ポート内部を指や金属などで触れないでください。
- 直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しないでください。
- 環境温度が急激に変化する場所では使用しないでください。環境温度が急激に変化すると、本製品に結露が発生することがあります。結露が発生したときは電源を入れない状態で乾くまでしばらく放置してください。
- 本製品に触れるときは、人体や衣服から静電気を除去してください。
- 本製品を強い磁界がある場所に設置しないでください。
- 本製品の同一電源ライン上にノイズを発生する機器を接続しないでください。故障や動作不良の原因になります。
- 本製品のご使用にあたり、周囲の環境によっては電話、ラジオ、テレビなどに雑音が入る場合があります。この場合は本製品の設置場所、向きを変えてみてください。
- 通信ケーブルを電源コードなどに近づけて配線しないでください。大きな電圧が誘起され、動作不良の原因になります。
- 本製品をご使用にならないときは、電源プラグを必ずコンセントから外してください。
- 1000BASE-T でご使用になる場合は、エンハンスドカテゴリー 5 (CAT5e) 以上の LAN ケーブルをご使用ください。
- 本製品を譲渡する際は、本書も合わせて譲渡してください。
- 本製品では、時計機能の電源バックアップのためにリチウム電池を使用しています。本製品および付属品を廃棄する場合は、各地方自治体の廃棄処分方法に従ってください。
- マグネットシート MGS-1710 をパソコンや時計などの磁気の影響を受けやすい機器に近づけないでください。
- マグネットシート MGS-1710 に磁気カード、磁気ディスクなどを近づけないでください。記録内容が消去されるおそれがあります。

# 重要なお知らせ

---

## ■ 電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

## ■ 高調波規制について

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

## ■ 本製品で使用しているオープンソースソフトウェア

詳しくは、ヤマハネットワーク製品の Web サイトをご覧ください。

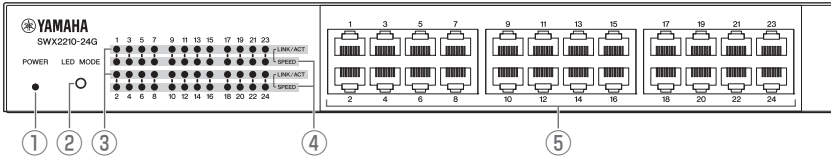


ヤマハネットワーク製品サポート  
<https://network.yamaha.com/support/>

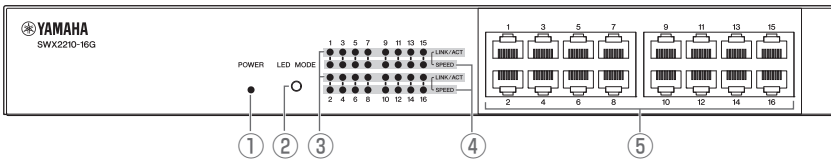
# 各部の名称と機能

## 前面

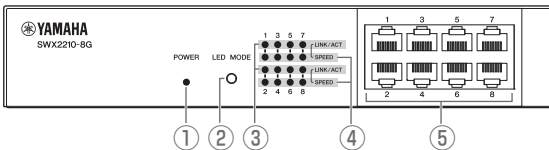
### SWX2210-24G



### SWX2210-16G



### SWX2210-8G



## ① POWER ランプ

通電時に点灯します。

POWER ランプ	電源
消灯	電源 OFF
点灯 (緑色)	電源 ON

## ② LED MODE ボタン

LINK/ACT ランプと SPEED ランプの点灯と消灯を切り替えます。

ランプが点灯している状態で LED MODE ボタンを長押しするとランプを消灯します。

ランプが消灯している状態で LED MODE ボタンを長押しするとランプを点灯します。

本製品の設定を工場出荷状態に戻すことができます。詳細は「設定」の「LED MODE ボタンで工場出荷時の状態に戻す」(30 ページ)をご覧ください。

## 各部の名称と機能

### ③ LINK/ACT ランプ

LAN ポートの状態を表示します。

LINK/ACT ランプ	LAN ポートの状態
消灯	リンクを喪失しています。(使用不可) または LED MODE ボタンで消灯を選択しています。
点灯 (緑色)	リンクを確立しています。(使用可能)
点滅 (緑色)	データが流れています。
点滅 (橙色)	ループが検出されています。

### ④ SPEED ランプ

LAN ポートの接続速度を表示します。

SPEED ランプ	接続状態
消灯	未接続、または 10BASE-T で接続しています。 または、LED MODE ボタンで消灯を選択しています。
点灯 (橙色)	100BASE-TX で接続しています。
点灯 (緑色)	1000BASE-T で接続しています。

### ⑤ LAN ポート

10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T のポートです。

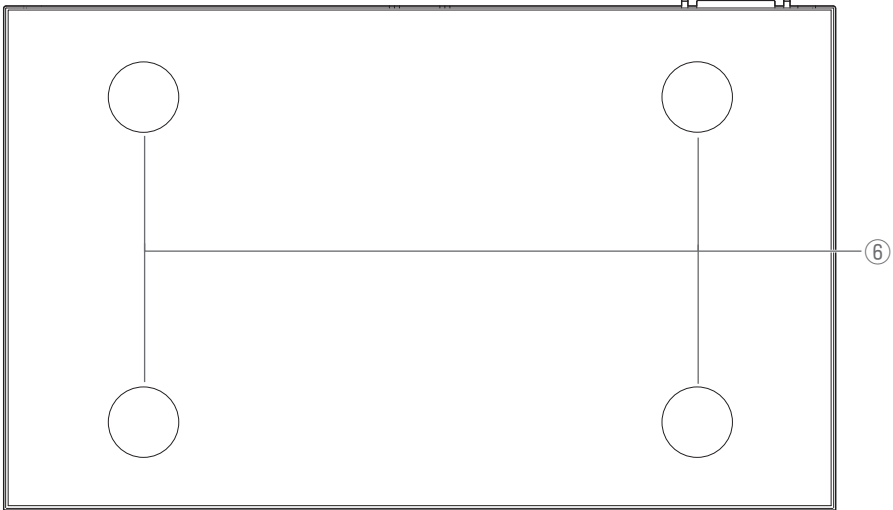
IEEE802.3az Energy Efficient Ethernet (EEE) に対応しており、イーサネット通信の省電力を実現できます。(低消費電力モード)

低消費電力モードの設定について詳しくは、コマンドリファレンス (ヤマハ Web サイト) をご覧ください。

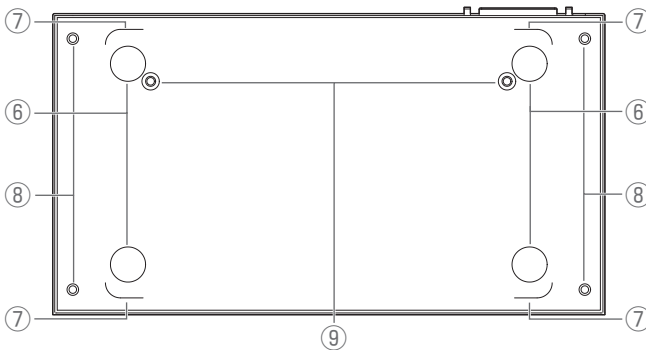
## 底面 / 背面 / 側面

## ■ 底面

SWX2210-24G / SWX2210-16G



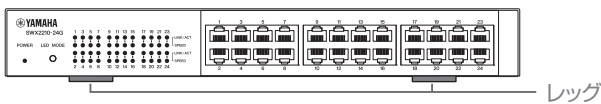
SWX2210-8G



## ⑥ レッグ取り付けガイド

水平置きに設置する場合に取り付ける付属のレッグの位置です。取り付け方は「設置」の「水平置きで設置する場合」（18 ページ）をご覧ください。

水平置きで設置する場合は、付属のレッグを図のように取り付けてください。



## 各部の名称と機能

### ⑦ マグネットシート取り付けガイド SWX2210-8G

スチール製壁面に設置する場合に付属のマグネットシートを取り付ける位置を示しています。取り付け方は「設置」の「スチール製壁面に設置する場合 SWX2210-8G」(21 ページ) をご覧ください。

### ⑧ ウォールマウントキット取り付け穴 SWX2210-8G

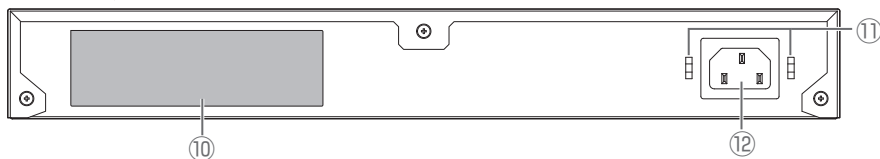
ウォールマウントキット YWK-1200D を取り付ける際に使用します。取り付け方は「設置」の「壁面に設置する場合 SWX2210-8G」(23 ページ) をご覧ください。

### ⑨ ラックマウントキット取り付け穴 SWX2210-8G

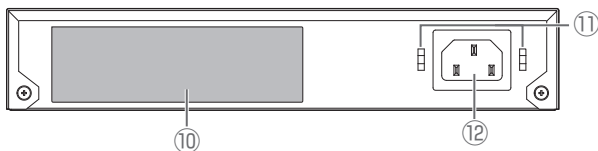
ラックマウントキット YMO-RACK1U を取り付ける際に使用します。取り付け方は「設置」の「19 インチラックに設置する場合 SWX2210-8G」(18 ページ) をご覧ください。

## ■ 背面

SWX2210-24G / SWX2210-16G



SWX2210-8G



### ⑩ 製品ラベル

本製品の機器名、製造番号、MAC アドレスなどを記載しています。

### ⑪ 電源コード抜け防止金具取り付け穴

付属の電源コード抜け防止金具(コの字型)を取り付けます。取り付け方は「接続」の「電源コードを接続する」(31 ページ) をご覧ください。

### ⑫ 電源インレット (3 極コネクタ、C14 タイプ)

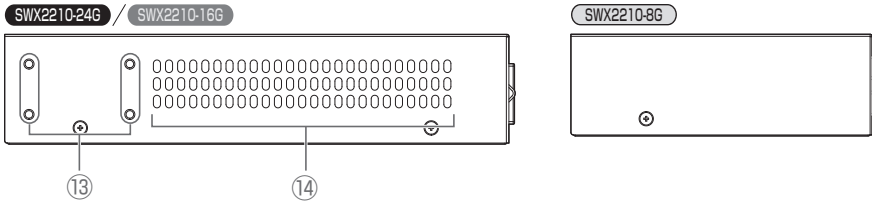
付属の電源コードを差し込みます。AC100V、50/60Hz の電源コンセントに接続します。

## メモ

本製品には電源スイッチはありません。本製品に接続した電源コードのプラグをコンセントに差し込むことで電源が入ります。



## ■ 側面

⑬ ラックマウント用金具取り付け穴 **SWX2210-24G** / **SWX2210-16G**

19 インチラック（1U）に取り付ける際に使用します。取り付け方は「設置」の「19 インチラックに設置する場合 **SWX2210-24G** / **SWX2210-16G**」（20 ページ）をご覧ください。

## ⑭ 通風口

SWX2210-24G と SWX2210-16G に開けられた穴は、内部の熱を逃がすための通風口です。

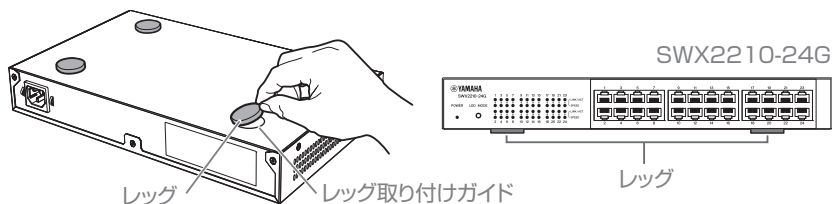
## ⚠ 警告

通風口をふさいだり、周囲に物を置いたりしない。  
火災や故障の原因になります。

# 設置

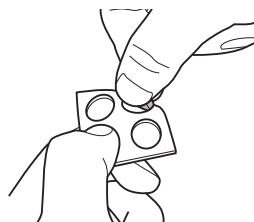
## ■ 水平置きで設置する場合

付属のレッグをレッグ取り付けガイドの位置に図のように取り付け、デスクの上などの水平な場所に設置します。



## メモ

- ・ SWX2210-24G と SWX2210-16G は、4 個のレッグが同梱されます。
- ・ SWX2210-8G は、4 個のレッグが 1 つのシートに貼られて同梱されます (右図参照)。



## ■ 19 インチラックに設置する場合 SWX2210-8G

SWX2210-8G は、弊社別売のラックマウントキット YMO-RACK1U を使用して取り付けます。

取り付け方法や注意事項など、詳細についてはラックマウントキット付属の「YMO-RACK1U 取扱説明書」をご覧ください。

### 【取り付け方法】

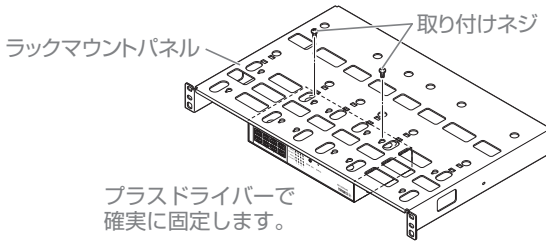
中央ブロックに取り付ける場合を例に説明します。左右ブロックに取り付ける場合も、下記の手順に従ってください。

### 重要

SWX2210-8G の底面にレッグを取り付けている場合は、取り外してからマウントパネルに取り付けてください。

## 1. ラックmountパネルに SWX2210-8G を取り付ける。

ラックmountパネルに付属の取り付けネジ（2本）を使用し、SWX2210-8Gの底面にラックmountパネルを固定してください。



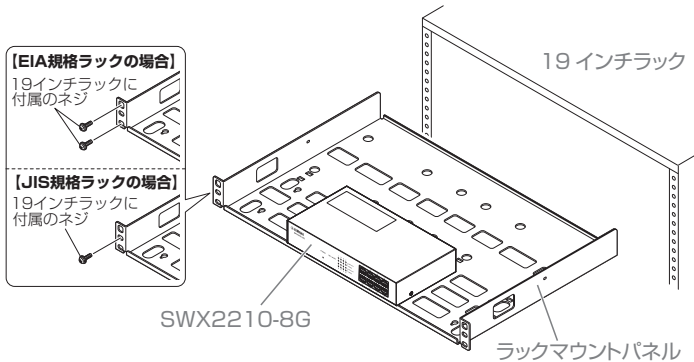
### ⚠ 警告

SWX2210-8G を弊社別売ラックmountキット YMO-RACK1U に取り付けるときは、必ずmountキット付属の指定されたネジを使用する。

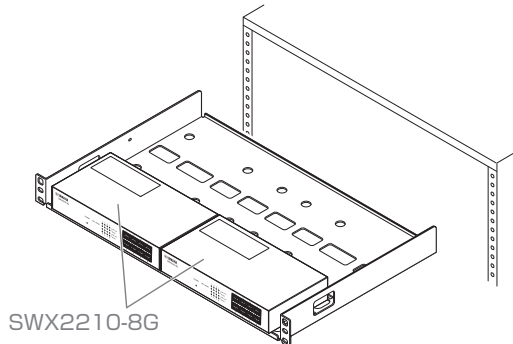
落下によるけがや機器破損の原因になります。また、感電や故障の原因になります。

## 2. ラックmountパネルを 19 インチラックに取り付ける。

19 インチラックに付属の取り付けネジ（EIA 規格 4 本、JIS 規格 2 本）を使用し、19 インチラックに SWX2210-8G を取り付けてください。取り付けネジはゆるまないように十分に締め付けてください。



下図のように SWX2210-8G を 2 台取り付けることもできます。



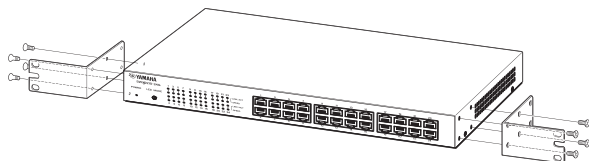
## ■ 19 インチラックに設置する場合 SWX2210-24G / SWX2210-16G

SWX2210-24G と SWX2210-16G は 19 インチラックマウント 1U サイズに適合します。19 インチラックに組み込む場合は、付属のラックマウント用金具（2 個）を付属のネジ（8 本）を使用して固定します。

### ⚠ 警告

必ず付属の 19 インチラックマウント用金具とネジを使用する。

落下によるけがや機器破損の原因になります。また、感電や故障の原因になります。



プラスドライバーで確実に固定します。

### 注意

- ・ ラック本体に扉がある場合には、本体を組み込んで通信ケーブルや電源コードを配線した後にはぶつかることがないように十分注意してください。
- ・ SWX2210-24G と SWX2210-16G の側面にある通風口をふさがないように、すきまを設けて 19 インチラックに取り付けてください。

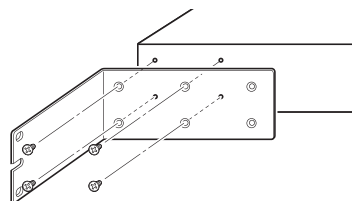
### メモ

19 インチラックへの取り付けネジは付属していません。

SWX2210-24G と SWX2210-16G に 19 インチラックマウント用金具を取り付けるには、以下の 2 つの方法があります。

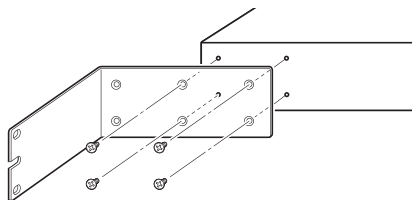
**方法 A：19 インチラックマウント用金具のラックネジ面と SWX2210-24G または SWX2210-16G の前面を、同一面にして取り付ける**

通常はこちらの方法で取り付けます。



**方法 B：方法 A よりも、4cm 奥に取り付ける**

19 インチラックに扉がついている場合は、こちらの方法で取り付けます。SWX2210-24G または SWX2210-16G の前面に挿入した LAN ケーブルがラックの扉に接触しないよう奥に取り付けます。



## ■ スチール製壁面に設置する場合 (SWX2210-8G)

付属のマグネットシートを使用して設置します。

### ⚠ 警告

取り付け、取り外しのときは、必ず SWX2210-8G の電源プラグをコンセントから抜く。感電や故障の原因になります。

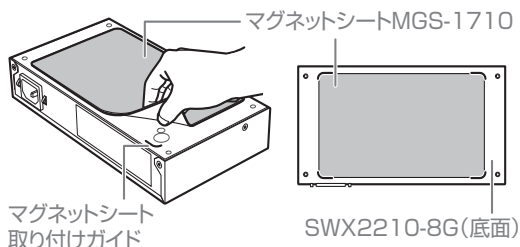
1. 底面にレッグが取り付けられている場合は、レッグを取り外す。

2. SWX2210-8G にマグネットシート MGS-1710 を取り付ける。

付属のマグネットシートを SWX2210-8G 底面の「マグネットシート取り付けガイド」(16 ページ) に沿って貼ってください。マグネットシート MGS-1710 は、どちらの面も磁力の強弱の違いはありません。

### 注意

- ・ 付属のマグネットシート (MGS-1710) は SWX2210-8G の専用品です。他の機器の取り付けなど、別の用途に使用しないでください。
- ・ SWX2210-8G をスチール製壁面に取り付けるとき、MGS-1710 以外のマグネットシートは使用しないでください。



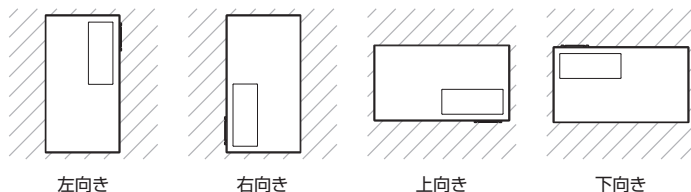
3. SWX2210-8G を壁面に取り付けます。

### ⚠ 注意

- ・ SWX2210-8G を高所または天井面に取り付けない。  
設置する場合は、高さ 200cm 以内に設置してください。  
落下によるけがや機器破損の原因になります。
- ・ SWX2210-8G をマグネットシート MGS-1710 で壁面に設置したあと、機器をずらさない。  
接着面が小さくなるため、SWX2210-8G が落下し、けがや機器破損の原因になったり、被着面の塗装などに傷がついたりするおそれがあります。
- ・ SWX2210-8G をマグネットシート MGS-1710 で壁面に設置したとき、ケーブルは必ず壁面などに固定する。  
ケーブルに手や足が引っかかると、SWX2210-8G が落下し、けがや機器破損の原因になります。

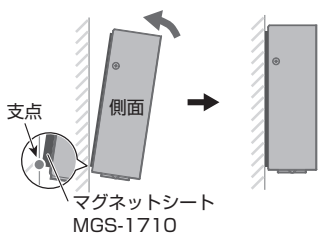
**注意**

- ・ 設置面の状態によっては十分な設置強度を得られない場合があります。取り付けの際、問題がないか確認してください。
- ・ 側面、前面、背面のどの面を上にしても設置できますが、斜めには設置しないでください（下図参照）。

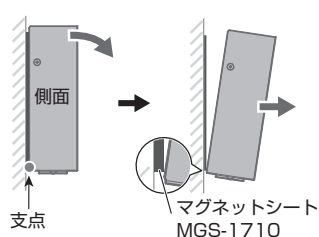


- ・ マグネットシート MGS-1710 を切って使用しないでください。小さく切り分けて使用した場合、SWX2210-8G が落下するおそれがあります。
- ・ マグネットシート MGS-1710 を取り付けした SWX2210-8G を、スイッチなどのネットワーク機器に重ねて設置しないでください。機器の転倒や誤動作の原因となるおそれがあります。
- ・ マグネットシート MGS-1710 を使用する場合は、レッグを取り付けしないでください。レッグが付いている場合は、レッグを取り外してください。
- ・ SWX2210-8G と壁面の間に指を挟まないようご注意ください。
- ・ マグネットシート MGS-1710 全体が壁面に密着するように取り付けてください。
- ・ 取り付けの際、マグネットシート MGS-1710 と壁の間にケーブルなどが挟まっていることを確認してください。
- ・ SWX2210-8G を設置面に設置したり、取り外したりするときは、SWX2210-8G の下側を支点にすると容易に着脱しやすくなります。着脱する際に SWX2210-8G が落下しないようご注意ください。

**取り付け**

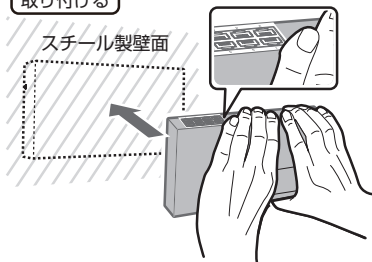


**取り外す**

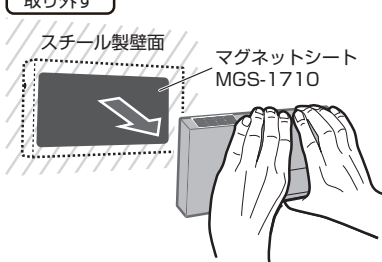


- ・ マグネットシート MGS-1710 を貼り付けた SWX2210-8G を壁面に設置したり、取り外したりするときは、下図のように端子に指をかけずに持ってください。端子に指をかけると端子が変形するおそれがあります。

**取り付け**



**取り外す**



## ■ 壁面に設置する場合 SWX2210-8G

弊社別売のウォールマウントキット YWK-1200D を使用して設置します。取り付け方法や注意事項など、詳細についてはウォールマウントキット付属の「YWK-1200D 取扱説明書」をご覧ください。

### ⚠ 警告

取り付け、取り外しのときは、必ず SWX2210-8G の電源プラグをコンセントから抜く。感電や故障の原因になります。

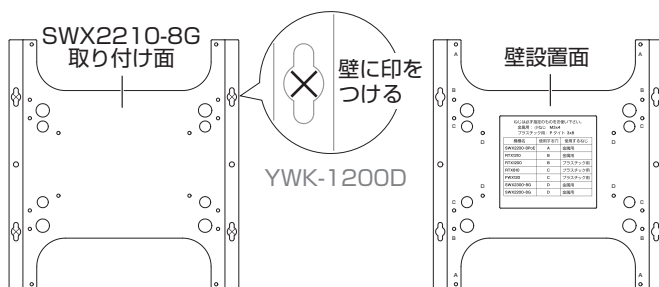
### ⚠ 注意

SWX2210-8G を天井に取り付けない。  
落下によるけがや機器破損の原因になります。

### 重要

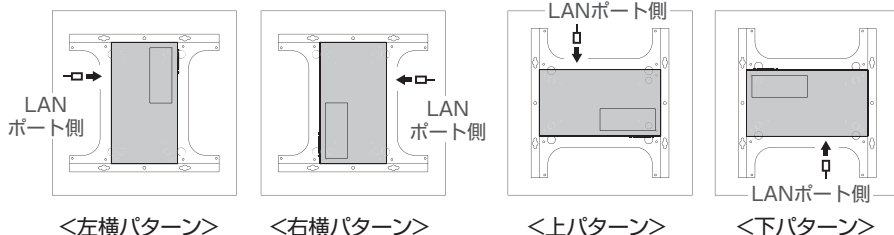
マウント金具には、SWX2210-8G を取り付けると向きがあります。取り付け面と向きを間違えるとマウント金具を SWX2210-8G に取り付けられません。取り付け面と向きについては、手順1と手順3のイラストをご覧ください。

## 1. マウント金具を壁に当て、取り付け位置に印をつけます。

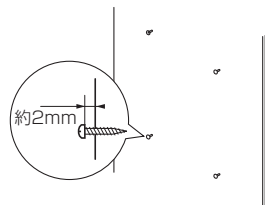


### 取り付けパターン

前面、背面、側面のどの面を上にしても設置できますが、斜めには設置しないでください（下図参照）。



2. 手順 1 で印をした取り付け位置に、市販のネジ（4本）を仮止めします。その際に、壁とネジのくび下に約 2mm のマウント金具引っ掛けしろを残してください（右図）。



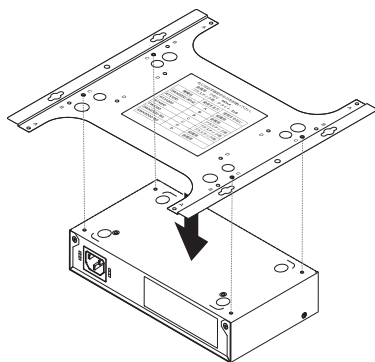
**⚠ 注意**

必ず壁の材質に適合したネジを使用する。  
落下によるけがや機器破損の原因になります。

3. SWX2210-8G にマウント金具を合わせます（右図）。

**重要**

- ・ SWX2210-8G の底面にレッグを取り付けている場合は、取り外してからマウント金具を取り付けてください。
- ・ マウント金具と SWX2210-8G の向きを合わせてください。向きを間違えると取り付けできません。



4. マウント金具を付属のネジ（4本）で SWX2210-8G に取り付けます。

プラスドライバーで確実に固定します。

**⚠ 警告**

必ず付属の指定されたネジを使用する。  
落下によるけがや機器破損の原因になります。また、感電や故障の原因になります。

**⚠ 注意**

マウント金具の角に手や指をかけるときは、注意する。  
けがの原因になります。

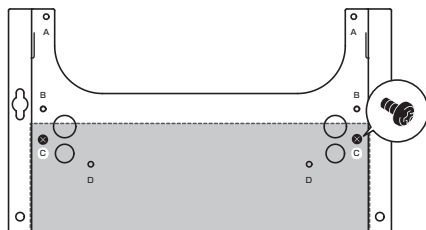
**注意**

使用するネジ穴

“C”

使用するネジ

“金属筐体用（黒色小 M3×4）”



**重要**

マウント金具と SWX2210-8G の向きを合わせてください。向きを間違えると取り付けられません。



## 5. 壁に取り付けた市販のネジに、組み上げたマウント金具を引っ掛けてずらしします。

### ⚠ 注意

SWX2210-8G を落下させない。

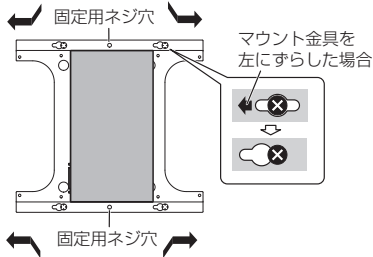
落下によるけがや機器破損の原因になります。

### 注意

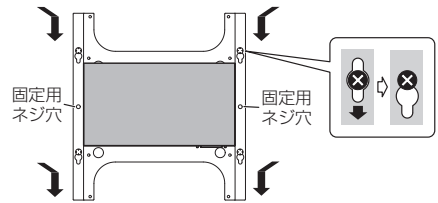
取り付ける向きに合わせて、マウント金具をずらしてください（下図参照）。

- ・横向きに取り付ける場合：左または右にずらす
- ・縦向きに取り付ける場合：下にずらす

#### 【横向きに取り付ける場合】



#### 【縦向きに取り付ける場合】



## 6. 仮止めした市販のネジを増し締めし、マウント金具を固定します。

## 7. マウント金具の固定用ネジ穴（2 か所）に市販のネジを取り付けます。

### ⚠ 注意

必ず壁の材質に適したネジを使用する。

落下によるけがや機器破損の原因になります。

# 設定

以下の方法で本製品の設定を行うことができます。

- Web GUI を使用して設定する (P.26)
- Telnet を使用してコマンドラインで設定する (P.27)
- 本製品の設定を工場出荷時の状態に戻す (P.29)

本製品へのログインには、一般ユーザーでログインする場合、管理ユーザーでログインする場合があります。本章では、管理ユーザーでログインする手順を説明します。詳しくは、下記の Web サイトより本製品のページをご覧ください。



ヤマハネットワーク機器の技術資料  
<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/>

本製品で使用するコマンドについて詳しくは、コマンドリファレンスをご覧ください。コマンドリファレンスは、下記の Web サイトで公開されています。



ヤマハネットワーク機器マニュアル  
<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/manual.html>

## Web GUI を使用して設定する

Web GUI を使用して本製品にログインするまでの手順を説明します。使用可能な Web ブラウザーについては、以下の Web サイトをご覧ください。



ヤマハネットワーク製品 Web GUI の Web ブラウザー対応状況  
<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/FAQ/gui/browser.html>

### ■ Web ブラウザーを使用して本製品にログインする

1. Web ブラウザーを起動し「[http:// \(本製品の IP アドレス\) /](http://(本製品のIPアドレス)/)」にアクセスする。  
アクセスに成功すると、ユーザー名とパスワードを入力するログイン画面が表示されます。

#### メモ

- 本製品の IP アドレスは、工場出荷時の状態では 192.168.100.240/24 が設定されています。
  - 本製品をネットワークに接続していない場合は、設定に使用するパソコンの IP アドレスを 192.168.100.0/24 のセグメントとなるように設定します。  
パソコンの IP アドレスの変更方法は、パソコンのマニュアルをご覧ください。
2. 事前に設定している場合は、ユーザー名とパスワードを入力して、「ログイン」ボタンをクリックする。  
工場出荷時の状態ではユーザー名とパスワードは設定されていないため、ユーザー名とパスワードの入力は不要です。

## Telnet を使用してコマンドラインで設定する

LAN 上のホストから Telnet クライアントを使用して本製品にログインするまでの手順を説明します。

### ■ Telnet クライアントを使用したログイン

本製品の IP アドレスは、工場出荷時の状態では 192.168.100.240/24 が設定されています。パソコンなどの Telnet クライアントを使用して、本製品の Telnet サーバーに接続します。

例として Windows の Telnet クライアントを使用して本製品の Telnet サーバーに接続する手順を説明します。

### メモ

Windows OS の場合、初期設定では Telnet 機能は無効になっています。Telnet 機能を使用するには、Telnet クライアントを有効にしてください。

#### 1. 本製品とパソコンを LAN ケーブルで接続する。

#### 2. 本製品の電源を確認する。

本製品の電源が入っていないときは、「電源コードを接続する」(31 ページ)を参照し電源を入れます。電源が入っているときは、手順 3 に進みます。

#### 3. Windows のコマンドプロンプトを起動する。

#### 4. Telnet コマンドで本製品の IP アドレスを入力する。

本製品が工場出荷時の状態のときは、Telnet コマンドの後に “192.168.100.240” を入力します。

```
telnet 192.168.100.240
```

#### 5. [Enter] キーを押す。

ユーザー名入力待ち状態になります。

事前にユーザー名を設定している場合は、ユーザー名を入力します。

工場出荷時の状態では、ユーザー名が設定されていないので入力は不要です。

```
Username:
```

#### 6. [Enter] キーを押す。

パスワード入力待ち状態になります。

事前にパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

工場出荷時の状態およびパスワードを設定していない場合は、入力は不要です。

```
Password:
```

## 7. [Enter] キーを押す。

パスワード認証が成功するとコマンドプロンプトが表示され、コマンドを入力することができます。

```
SWX2210>
```

コマンドに関する詳細についてはコマンドリファレンス（ヤマハ Web サイト）をご覧ください。

## 本製品の設定を工場出荷時の状態に戻す

本製品の設定を工場出荷時の状態に戻すまでの手順を説明します。

- ・ 本製品の Web GUI から工場出荷時の状態に戻す (P.29)
- ・ cold start コマンドで工場出荷時の状態に戻す (P.30)
- ・ LED MODE ボタンで工場出荷時の状態に戻す (P.30)

### 注意

工場出荷時の状態へ戻す場合は、以下の点にご注意ください。

- ・ 実行した直後にすべての通信が切断されます。
- ・ 本製品の IP アドレスが初期設定値 (192.168.100.240) に戻ります。
- ・ 工場出荷時の状態に戻した後は設定内容を復元することはできません。必要に応じて、事前にパソコンなどに設定内容を退避してください。Config ファイルの読み出し方法について詳しくは、コマンドリファレンス (ヤマハ Web サイト) をご覧ください。

### ■ 本製品の Web GUI から工場出荷時の状態に戻す

Web GUI から設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

#### 1. 「管理」タブ→「保守」→「再起動と初期化」を順に選択する。

「再起動と初期化」画面が表示されます。

#### 2. 「初期化」項目の「進む」ボタンをクリックする。

「初期化」画面が表示されます。

#### 3. 管理者パスワードを入力し、「確認」ボタンをクリックする。

「実行内容の確認」画面が表示されます。

#### 4. 内容を確認し、「実行」ボタンをクリックする。

本製品の不揮発性メモリに保存されている設定を工場出荷状態に戻し、SYSLOG を消去します。また、「初期化」ダイアログが表示され、本製品が再起動します。

### メモ

- ・ 再起動中は Web GUI を開いているパソコンが本製品と通信できない状態 (パソコンのネットワークアダプタの状態表示で「ネットワークケーブルが接続されていない」と表示されます) になりますが、再起動が完了すると通信状態が復旧します。本製品のランプの点滅終了後に、Web GUI を開いているパソコンの通信状態が復旧していることを確認してから「192.168.100.240/24」をクリックしてください。
- ・ 本製品の IP アドレスが 192.168.100.240 に戻ります。Web GUI に再度アクセスする際には 192.168.100.240 へアクセスしてください。

### ■ cold start コマンドで工場出荷時の状態に戻す

Telnet を使用してコマンドラインから設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

#### 注意

Telnet でログインしている場合は、その通信が切断されます。

#### メモ

ここでは、「Telnet を使用してコマンドラインで設定する」(27 ページ) でログインしたことを前提に説明します。

#### 1. enable を入力し [Enter] キーを押す。

特権 EXEC モードに変更します。

```
SWX2210>enable
SWX2210#
```

#### 2. cold start コマンドを入力し [Enter] キーを押す。

管理者パスワードの入力が要求されます。

```
SWX2210#cold start
Password:
```

#### 3. 管理者パスワードを入力し [Enter] キーを押す。

本製品の不揮発性メモリに保存されている設定を工場出荷状態に戻し、SYSLOG を消去して本製品が再起動します。

### ■ LED MODE ボタンで工場出荷時の状態に戻す

電源 OFF 時に前面の LED MODE ボタンを押した状態で電源を入れると、工場出荷時の設定に戻すことができます。

#### メモ

本製品には電源スイッチはありません。本製品に接続した電源コードのプラグをコンセントに差し込むことで電源が入ります。

#### 1. 指で前面の LED MODE ボタンを押した状態で、電源を入れる。

本製品が起動します。

#### 2. 指で前面の LED MODE ボタンを押した状態で 10 秒間ほど待つ。

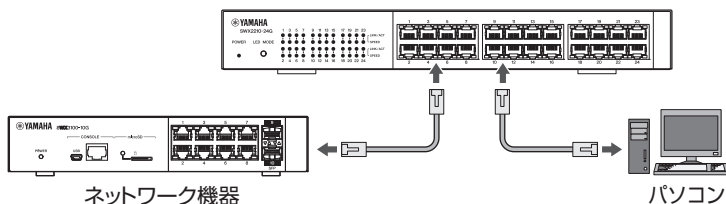
本製品の不揮発性メモリに保存されている設定を工場出荷状態に戻し、SYSLOG を消去します。

#### 3. POWER ランプを除くすべてのランプが橙色に点灯したら、LED MODE ボタンから指を離す。

# 接続

## ■ ネットワーク機器やパソコンと接続する

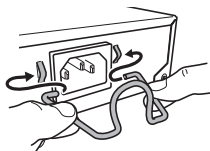
ネットワーク機器や、パソコンの LAN ポートと本製品の LAN ポートを LAN ケーブルで接続します。



## ■ 電源コードを接続する

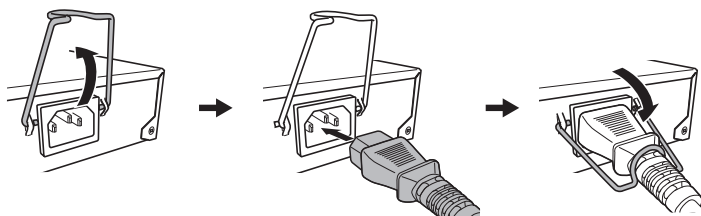
### 1. 付属の電源コード抜け防止金具を取り付ける。

- 電源コードの不意の脱落を防止するために、付属の電源コード抜け防止金具（以下のイラストでは「付属の金具」）を電源コード抜け防止金具取り付け穴（以下のイラストでは「本体の穴」）に取り付けて電源コードを固定します。
- 付属の電源コード抜け防止金具は、付属の電源コード専用です。
- 付属の電源コード以外では、コードが破損したり十分に固定できない可能性があります。



付属の金具を本体の穴に差し込む。

### 2. 付属の電源コードを電源インレットに接続し、金具で固定する。



①金具を持ち上げる。

②電源コードを接続する。

③金具を押し下げて固定する。

**3. 電源プラグをコンセントに接続する。**

POWER ランプが緑点灯します。

**メモ**

本製品には電源スイッチはありません。本製品に接続した電源コードのプラグをコンセントに差し込むことで電源が入ります。

**4. LINK/ACT ランプを確認する。**

本製品前面の LINK/ACT ランプを確認します。

ネットワーク機器やパソコンを接続した LAN ポートに対応した LINK/ACT ランプが緑点灯または緑点滅すれば正常です。

ランプの状態の詳細は、「LINK/ACT ランプ」(14 ページ)をご覧ください。



## 資料

## ハードウェア仕様

項目		SWX2210		
		-24G	-16G	-8G
外形寸法 (W x D x H 単位: mm) 突起物、レッグを含まず		330 x 200 x 43.5	330 x 200 x 43.5	220 x 120 x 40.5
質量 (付属品含まず)		2.0 kg	1.8 kg	0.85 kg
電源電圧、周波数		AC100 ~ 240V、50/60Hz 付属の電源コードを使用する場合は、日本国内 AC100V のみ使用可能		
最大消費電力		16.5 W	12.4 W	6.4 W
LAN ポート	規格	IEEE802.3 (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T)		
	ポート数	24	16	8
	通信モード	オートネゴシエーション		
	コネクタ	RJ-45		
	極性	ストレート/クロス自動判別またはストレート固定		
ランプ		POWER(1 個)、 LINK/ACT(24 個) )、 SPEED(24 個)	POWER(1 個)、 LINK/ACT(16 個) )、 SPEED(16 個)	POWER(1 個)、 LINK/ACT(8 個)、 SPEED(8 個)
ボタン		LED MODE ボタン		
MAC アドレス		背面の製品ラベルに表示		
電波障害規格		VCCI クラス A		
動作環境 条件	周囲温度	0 ~ 50 °C		
	周囲湿度	15 ~ 80% (結露しないこと)		
保管環境 条件	周囲温度	- 20 ~ 60 °C		
	周囲湿度	10 ~ 90% (結露しないこと)		

## ソフトウェアライセンス契約

本契約は、お客様とヤマハ株式会社（以下、ヤマハといいます）との間の契約であって、ヤマハネットワーク製品（以下「本製品」といいます）用ファームウェアおよびこれに関わるプログラム、印刷物、電子ファイル（以下「本ソフトウェア」といいます）をヤマハがお客様に提供するにあたっての条件を規定するものです。

「本ソフトウェア」は、「本製品」またはパーソナルコンピュータ等のデバイスで動作させる目的においてのみ使用することができます。本契約は、ヤマハがお客様に提供した「本ソフトウェア」および本契約第1条第（1）項の定めに従ってお客様が作成した「本ソフトウェア」の複製物に適用されます。

### 1. 使用許諾

- (1) お客様は、「本ソフトウェア」をお客様が所有する「本製品」またはパーソナルコンピュータ等のデバイスにインストールして使用することができます。
- (2) お客様は、本契約に明示的に定められる場合を除き、「本ソフトウェア」を、再使用許諾、販売、頒布、賃貸、リース、貸与もしくは譲渡し、特定もしくは不特定多数の者によるアクセスが可能なウェブ・サイトもしくはサーバー等にアップロードし、または、複製、翻訳、翻案もしくは他のプログラム言語に書き換えてはなりません。お客様はまた、「本ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、逆アセンブル、逆コンパイル、その他リバース・エンジニアリング等してはならず、また第三者にこのような行為をさせてはなりません。
- (3) お客様は、「本ソフトウェア」に含まれるヤマハの著作権表示を変更、除去、または削除してはなりません。
- (4) 本契約に明示的に定める場合を除き、ヤマハは、「本ソフトウェア」に関するヤマハの知的財産権のいかなる権利もお客様に付与または許諾するものではありません。

### 2. 所有権

「本ソフトウェア」は、著作権法その他の法律により保護され、ヤマハにより所有されています。お客様は、ヤマハが、本契約に基づきまたはその他の手段により「本ソフトウェア」に係る所有権および知的財産権をお客様に譲渡するものではないことを、ここに同意するものとします。

### 3. 輸出規制

お客様は、当該国のすべての適用可能な輸出管理法規や規則に従うものとし、また、かかる法規や規則に違反して「本ソフトウェア」の全部または一部を、いかなる国へ直接もしくは間接に輸出もしくは再輸出してはなりません。

### 4. サポートおよびアップデート

ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者は、「本ソフトウェア」のメンテナンスおよびお客様による「本ソフトウェア」の使用を支援することについて、いかなる責任も負うものではありません。また、本契約に基づき「本ソフトウェア」に対してアップデート、バグの修正あるいはサポートを行う義務もありません。

## 5. 責任の制限

- (1) 「本ソフトウェア」は、『現状のまま (AS-IS)』の状態で使用許諾されます。ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者は、「本ソフトウェア」に関して、商品性および特定の目的への適合性の保証を含め、いかなる保証も、明示したと黙示したとを問わず一切しないものとします。
- (2) ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者は、「本ソフトウェア」の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益およびその他の派生的または付随的な損害を含むがこれらに限定されない）について、一切責任を負わないものとします。たとえ、ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者がかかる損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。
- (3) ヤマハ、ヤマハの子会社、それらの販売代理店および販売店、並びに、その他「本ソフトウェア」の取扱者および頒布者は、「本ソフトウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じるいかなる紛争についても、一切責任を負わないものとします。

## 6. 有効期間

- (1) 本契約は、下記 (2) または (3) により終了されるまで有効に存続します。
- (2) お客様は、「本製品」またはパーソナルコンピュータ等のデバイスにインストール済みのすべての「本ソフトウェア」を消去することにより、本契約を終了させることができます。
- (3) お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、本契約は直ちに終了します。
- (4) お客様は、上記 (3) による本契約の終了後直ちに、「本製品」またはパーソナルコンピュータ等のデバイスにインストール済みのすべての「本ソフトウェア」を消去するものとします。
- (5) 本契約のいかなる条項にかかわらず、本契約第2条から第6条の規定は本契約の終了後も効力を有するものとします。

## 7. 分離可能性

本契約のいかなる条項が無効となった場合でも、本契約のそれ以外の部分は効力を有するものとします。

## 8. U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS NOTICE:

The Software is a "commercial item," as that term is defined at 48 C.F.R. 2.101 (Oct 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.72024 (June 1995), all U.S. Government End Users shall acquire the Software with only those rights set forth herein.

## 9. 一般条項

お客様は、本契約が本契約に規定されるすべての事項についての、お客様とヤマハとの間の完全かつ唯一の合意の声明であり、口頭あるいは書面による、すべての提案、従前の契約またはその他のお客様とヤマハとのあらゆるコミュニケーションに優先するものであることに同意するものとします。本契約のいかなる修正も、ヤマハが正当に授権した代表者による署名がなければ効力を有しないものとします。

## 10. 準拠法

本契約は、日本国の法令に準拠し、これにもとづいて解釈されるものとします。

## サポート窓口のご案内

本製品に関する技術的なご質問やお問い合わせは、下記へご連絡ください。

### ヤマハルーターお客様ご相談センター

TEL : 03-5651-1330

FAX : 053-460-3489

### ご相談受付時間

9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00 (土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます)

### お問い合わせページ



サポート  
<https://network.yamaha.com/support/>

## 本製品の保守サービスについて

### 保証期間

保証書をご覧ください。

### 保証書について

保証書は本書に印刷されております。お買い上げ年月日、販売店などが確認できるレシートなどと一緒に保管してください。万一紛失なさいますと、保証期間中であっても有料となります。

### 保証期間中の修理

保証期間中に万一故障した場合には、ご購入の販売店またはヤマハルーターお客様ご相談センターまでご連絡のうえ、製品をご送付ください。その場合必ず保証書と、お買い上げ年月日、販売店などが確認できるレシートなども一緒に同封してください。

### 保証期間後の修理

保証期間終了後の修理は有料となりますが、引き続き責任をもって対応させていただきます。ご購入の販売店またはヤマハルーターお客様ご相談センターまでご連絡ください。ただし、修理対応期間は生産終了後 5 年間です。

### 注意

- ・ 本製品を修理などの理由により輸送される場合は、お客様の責任において、必ず本製品の設定を別の環境に保存してください。
- ・ 修理の内容によっては、設定を工場出荷時の状態にさせていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

## 本製品のお客様サポートについて（サポート規定）

ヤマハ株式会社は、お客様が本製品を快適にご利用いただけますように、また本製品の性能、機能を最大限に活用していただけますように、以下の内容、条件でサポートをご提供します。

### 1. サポート方法

1. FAQ、技術情報、設定例、ソリューション例などの Web 掲載
2. 電話でのご質問への回答
3. お問い合わせフォームからのご質問への回答
4. カタログ送付
5. 代理店・販売店からの回答  
ご質問内容によっては代理店・販売店へご質問内容を案内し、代理店・販売店よりご回答させていただきます場合がありますのであらかじめご了承ください。

## 2. サポート項目

1. 製品仕様について
2. お客様のご利用環境に適した弊社製品の選定について
3. 簡易なネットワーク構成での利用方法について
4. お客様作成の設定の確認、およびログの解析
5. 製品の修理について
6. 代理店または販売店のご紹介

## 3. 免責事項・注意事項

1. 回答内容につきましては正確性を欠くことのないように万全の配慮をもって行いますが、回答内容の保証、および回答結果に起因して生じるあらゆる事項について弊社は一切の責任を負うことはできません。また、サポートの結果または製品をご利用いただいたことによって生じたデータの消失や動作不良などによって発生した経済的損失、その対応のために費やされた時間的・経済的損失、直接的か間接的かを問わず逸失利益などを含む損失およびそれらに付随的な損失などのあらゆる損失について弊社は一切の責任を負うことはできません。なお、これらの責任に関しては弊社が事前にその可能性を知らされていた場合でも同様です。ただし、契約および法律でその履行義務を定めた内容は、その定めるところを遵守するものと致します。
2. ファームウェアの修正は弊社が修正を必要と認めたものについて生産終了後 2 年間行います。
3. 質問受付対応、修理対応は生産終了後 5 年間行います。
4. 実ネットワーク環境での動作保証、性能保証は行っておりません。
5. 期日・時間指定のサポート、および海外での使用、日本語以外でのサポートは行っていません。
6. お問い合わせの回答を行うにあたって、必要な情報のご提供をお願いする場合があります。情報のご提供がない場合は適切なサポートができない場合があります。
7. 再現性がない、および特殊な環境でしか起きないなどの事象に関しては、解決のための時間がかかったり適切なサポートが行えなかったりする場合があります。
8. オンサイト保守・定期保守などは代理店にて有料で行います。詳細な内容は代理店にご確認をお願いいたします。
9. 他社サービス、他社製品、および他社製品との相互接続に関するサポートは弊社 Web 上に掲載している範囲に限定されます。
10. やむを得ない事由により本製品の返品・交換が生じた場合は、ご購入店経由となります。なお、返品・交換に際しましてはご購入店、ご購入金額を証明する証憑が必要となります。
11. 製品の修理は代理店・販売店経由で受けさせていただきます。弊社への直接持ち込みはできません。また、着払いでの修理品受付は致しておりません。発送は弊社指定の通常宅配便（国内発送のみ）にて行わせていただきます。修理完了予定期間は変更になる場合がありますのでご了承ください。なお、保証期間中の無料修理（無料例外事項）などの詳細規定は保証書に記載しております。
12. 上記サポート規定は予告なく変更されることがあります。

# MEMO

# 保証書

持込修理

このたびはヤマハ製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。

本保証書は、本書記載の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、本保証書をご提示のうえお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品名	L2スイッチ	品番	SWX2210-24G SWX2210-16G SWX2210-8G	製造番号	
お客様	ご住所 〒			お名前	
				電話番号 ( )	
販売店/住所/電話番号					
お買い上げ日 年 月 日 保証期間はお買い上げ日から5年間です。					

※保証書は、「お買い上げ年月日」が確認できるレシートなどと一緒大切に保管してください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

ヤマハルーターお客様ご相談センター

TEL 03-5651-1330

## 保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態(取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、本製品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ご贈答品、ご転居後の修理についてお買い上げ販売店にご依頼できない場合には、本書に記載されているヤマハサポート窓口にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
  - 本保証書のご提示がない場合。
  - 本保証書に、お買い上げの年月日、お客様、お買い上げの販売店の記入がない場合、および本保証書の字句を書き替えられた場合。
  - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障および損傷。
  - お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
  - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷。
  - お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
- 本保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

※本保証書は本保証書に示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって本保証書によってお客様の法律上の権利を規制するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書に記載されておりますサポート窓口までお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます場合がございますのでご了承ください。

Manual Development Group  
© 2018 Yamaha Corporation

2020年2月発行  
YJDS-B0